

## 「佐渡島の金山」の世界遺産登録の実現に関する決議

「佐渡島の金山」は、徳川幕府の管理・運営の下、伝統的手工業により大規模かつ長期にわたる発展を遂げ、世界に誇る質・量の金を生産した、欧州とは異なる金生産システムを示す、稀有な産業遺産である。

「佐渡島の金山」は令和5年1月に政府からユネスコに対して推薦がなされ、ユネスコの諮問機関であるイコモスにおいて審査が進められているところである。

新潟県と佐渡市では、国と連携して「佐渡島の金山」の価値の発信に努めるとともに、資産の保存・活用や受入体制の整備など、関係機関が具体的な事業に取り組んでいる。

この取組を支援するため、佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議でも約1,500もの会員団体が、県内外で登録実現に向けた様々な活動を展開している。

「佐渡島の金山」の世界遺産登録は新潟県の悲願であり、これまで実施した、推薦を求める署名活動には50万筆を超える署名が寄せられるなど、多くの人々が心待ちにしている。

よって、本県民会議は、会員が一致協力して「佐渡島の金山」の価値の周知や、将来の世代へ引き継ぐ保全活動に一層取り組むことを宣言する。

以上、決議する。

令和5年5月27日

佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議